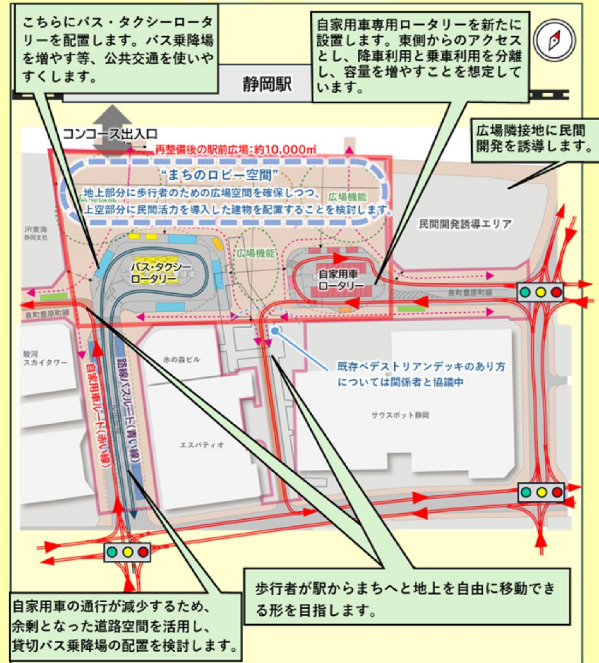


書面開催 静岡駅南口駅前広場再整備検討委員会：第5回のまとめ

第1回 現状と問題点・目指すべき姿 ➤ 第2回 コンセプト案とゾーニング案 ➤ 第3回 将来交通機能数の設定と配置・空間構成方針 ➤ 第4回 広場機能と周辺とのつながり

論点 これまで検討した整備案とその整備イメージについて

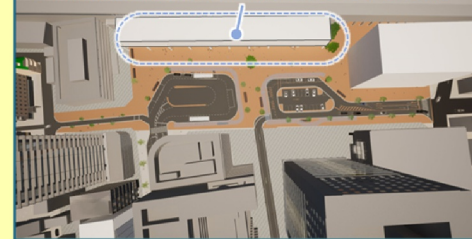
現時点での再整備案



■イメージパース ※あくまで現時点でのイメージであり、実際の整備内容を確定するものではありません

“まちのロビー空間”

地上部分に歩行者のための広場空間を確保しつつ、上空部分に民間活力を導入した建物を配置することを検討します。



“まちのロビー空間”

地上部分に歩行者のための広場空間を確保しつつ、上空部分に民間活力を導入した建物を配置することを検討します。



“まちのロビー空間”

地上部分に歩行者のための広場空間を確保しつつ、上空部分に民間活力を導入した建物を配置することを検討します。



委員からの意見

【交通機能について】

- ・ 自家用車で利用する人にとって、このロータリー配置は今までと大きく変わり不便に感じる可能性もあるため、なぜこの配置にしたのかという説明があった方がよい。
- ・ 整備後の駅前広場では、交通渋滞が生じるのではないかと懸念を持つ方が多そうなので、周辺交通の改善についても言及したほうが良い。

【目指す方向性実現のための整備案について】

- ・ 民間開発誘導エリアについて、1階部分も供用、通過できるようにした方がよい。
- ・ 広場との繋がりや動線など、駅前広場と一体となるようなつくりが良い。

【広場や建物のデザインについて】

- ・ まちのロビー空間中央の建物は、奥行きがありすぎると暗くなってしまう。コンコースから駅前広場に出た付近は、2層吹き抜け空間にするなどのデザイン検討が必要。
- ・ 市民の人が活躍できる場をつくるのがいいと思う。
- ・ まちのロビー空間中央の建物は、駅前広場や駅コンコースのある1階から2階以上への人の流れをいかに作れるかが課題である。2階レベルで駅や周辺街区と自然とつながる訳ではないので、この点をクリアできることがこの計画の成功を左右する重要なポイントになると思う。

- ・ 全ての機能・施設を上部空間に配置するのではなく、2階への入口となる機能・施設を1階にも設けることで、2階に人を誘導していく仕掛けや工夫も必要なのではないかと思う。
- ・ まちのロビー空間中央の建物について、金沢駅の鼓門のような、地域の伝統芸能や伝統工芸をモチーフとした、シンボリックな構造物が出来ると良い。
- ・ ロータリーからなるべく雨に濡れないで駅に入れるよう、大屋根もあるといいが、透明な屋根等、開放感の確保が必要。

【駅前広場のマネジメントについて】

- ・ まちのロビー空間でイベントが開催しやすいような仕組みを考慮し、(給排水・電源、イベント運用ルール整備等)整備することにより、実効性が高まる。
- ・ 屋内空間に無料のフリースペースを設けると、しっかりと管理していくのが難しい。

【その他について】

- ・ 動画があった方がイメージしやすく、市民の方からも前向きな意見がでると思う。
- ・ 広場の整備に係るスケジュールがあったほうが良い。